

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生涯学習推進課

担当名：社会教育施設企画調整担当

内線：6980

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B59	県立図書館サービス充実・強化推進事業		一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	社会教育振興費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	図書館法		宣言項目			
					分野施策	030726 生涯にわたる学びの支援		
1 事業概要 再編後の県立図書館で、核となる重点サービスの充実・強化を図る。 (1) ビジネス支援サービスの充実・強化 △124千円 資料購入費の節減等による減額 (2) 健康・医療情報サービスの充実・強化△548千円 資料購入費の節減等による減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ビジネス支援サービスの充実・強化 1,843千円 熊谷図書館が担当しているビジネス支援サービスについて充実・強化を図り、個人や中小企業等の起業や創業を支援する。 イ 健康・医療情報サービスの充実・強化 3,339千円 久喜図書館が担当している健康・医療情報サービスについて充実・強化を図り、県民の健康長寿に貢献する。 ウ 新たな図書館サービスの検討・推進 207千円 県立図書館に求められる新たなサービスについて検討・推進し、県立図書館の機能の更なる向上を図る。 (2) 事業計画 ア 県内公立図書館員を対象としたビジネス支援関係研修を企画・実施する。県内中小企業のニーズに対応した高度な資料・情報源を整備し、商工会議所等の地域経済団体と連携してビジネスカフェを実施する。 イ 県内公立図書館員を対象とした健康・医療情報関係研修を企画・実施する。県民のニーズに対応した資料や商用データベースなどの情報源を整備し、県民の情報検索をサポートする。 ウ 人生100年時代や超スマート社会における図書館サービスについて、実地視察や有識者からの意見聴取を行う。 (3) 事業効果 県全域にビジネス支援サービスを展開することにより、独自に情報収集手段を持たない中小企業等に対し、企業活動のグローバル化を支援する情報を県内で提供できるようになる。また、企業や個人の起業や創業に貢献できるようになる。 健康・医療情報サービスを推進することにより、自ら情報を調べて判断したいという県民に対し、健康や医療に関する正しい知識を深めてもらい、県民の病気予防や健康増進を図ることができ、「健康長寿埼玉」の実現につなげることができる。 県内図書館サービスの中核を担う県立図書館として、全国に誇れる図書館サービスの提供につなげることができる。 (4) 補正予算の概要 ア ビジネス支援サービスの充実・強化：資料購入費の節減等による減額 イ 健康・医療情報サービスの充実・強化：資料購入費の節減等による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節) 社会教育施設費 (積算内容) 図書館費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.05人=475千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△672						△672	4,717
現計額	5,389						5,389	